

# (仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

## 1. 事業目的

黄金森公園は、昭和56年に総合公園として都市計画決定し、本町の「豊かな自然環境を生かした生活利便性の高い田園都市」を目指して順次、陸上競技場、野球場、テニスコートを整備しています。また公園内には文化及び情操教育等に寄与するよう、南風原文化センター、中央公民館、南風原町総合保健福祉防災センター（ちむぐる館）を整備しています。公園面積20.5ha。

本事業では、黄金森公園を拡張し、近年の社会状況および町民のニーズ等を踏まえた体育館を整備することを目的としています。整備にあたり、町の財政縮減を図りつつ、より良い公共サービスを提供するため、PFIの導入可能性を視野に入れながら検討することとしています。

## 2. これまでの経緯

### (1) 検討経緯

昭和56年都市計画決定時の基本設計に体育館整備を盛り込みましたが整備まで至らず、平成17年度に見直しの検討、令和4年度に更なる検討を行い、令和5年3月に「黄金森公園屋内運動施設基本計画」を策定しています。

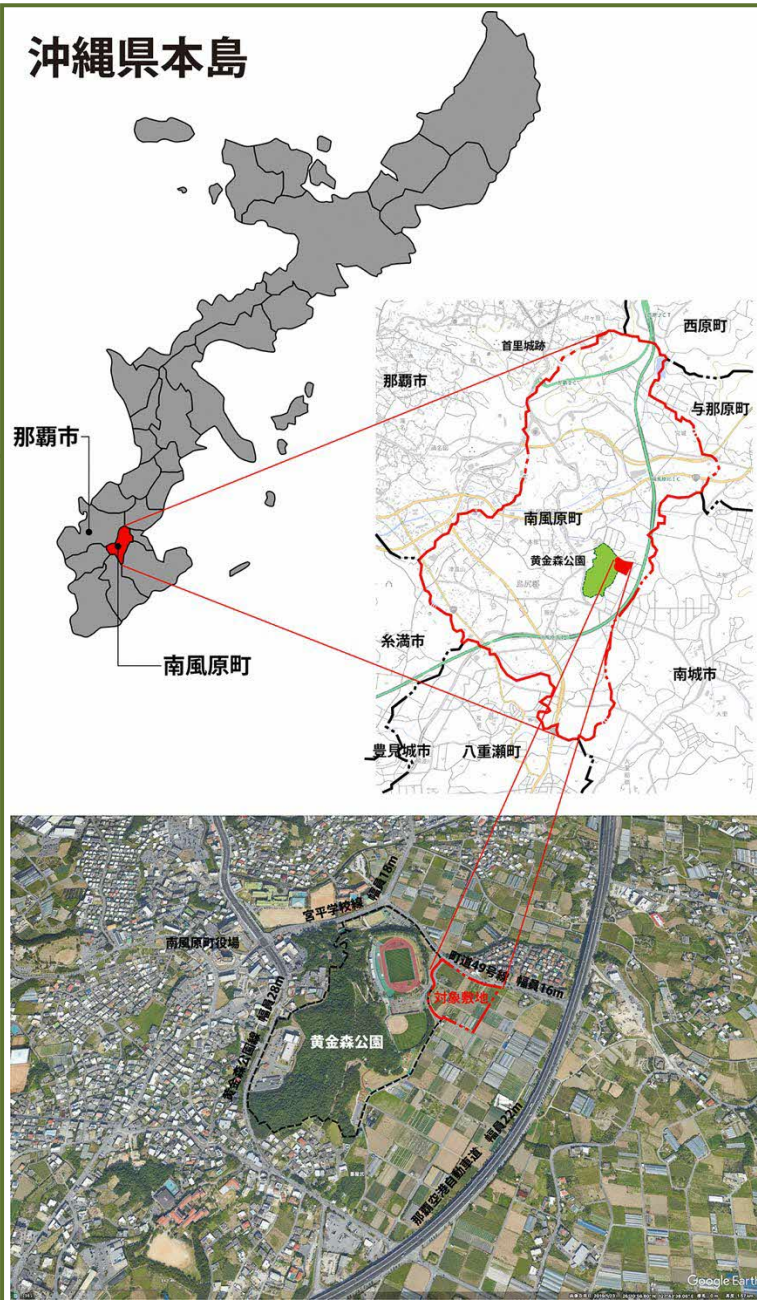
## 3. 計画概要

### (1) 位置及びアクセス

- 那覇空港より車で25分（13km）
- ゆいレール「首里駅」より車で15分（4.6km）

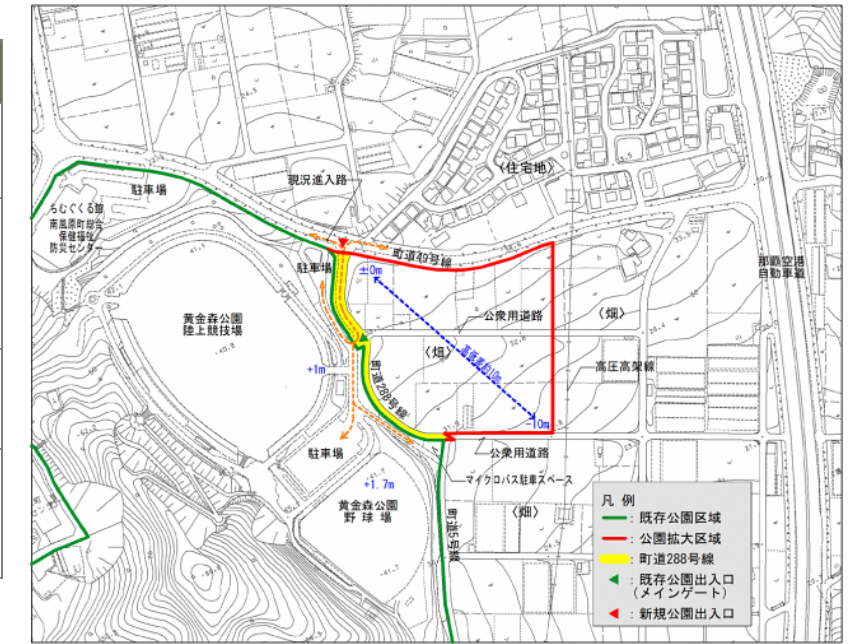
### (2) 計画施設

- 敷地規模：約2.6ha
- 建築面積：6,500㎡程度
  - ・ バスケットボール公式戦対応コート4面（サブアリーナ含む）
  - ・ ハンドボール公式対応コート2面
  - ・ 観覧席（固定席）1,000席
- 駐車場：300台程度（既存を含め500台程度）
- 広場・緑地等
  - ・ 各種イベントの開催
  - ・ 体育館との連携利用
  - ・ 緩衝空間の形成



## (3) 敷地条件

項目	内容
名称	(仮称) 南風原町民体育館
所在地	〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平付近
敷地概要	面積：約26,000㎡
備考	・ 黄金森公園（都市計画公園（総合公園））を拡張予定 ・ 市街化調整区域



## (4) 立地・周辺環境

対象敷地周辺には、西に黄金森公園内の各種施設、700m離れた場所には役場があります。北側1~2km圏には、南部医療センター・こども医療センターやイオン南風原店など大規模な生活支援施設が立地しています。南風原町は、沖縄本島南部の中央に位置しており、古くから交通の要衝で、様々な広域・広幅員の道路が整備・計画されています。（対象敷地の東に那覇空港自動車道路、黄金森公園西側に町の南北幹線の県道241号線（4車線）、東海岸のマリントウン MICE エリアと那覇市を結ぶ国道329号南風原バイパス（幅員43m）

**10 喜屋武**  
戦後いち早く復讐した「十五夜遊び」。現在、南風原町で唯一残存する「喜屋武の土」という伝統を今も「喜屋武の土（おまじない）」や「獅子舞」といった形で残っています。町の歴史と文化に繋がっています。

**7 本部**  
町の色彩として知られる本部を基盤として、南風原には3つの集落をつなぐように幹線道路が整備され、通いやすさや利便性が確保されています。また、緑豊かな環境が広がっています。

**9 照屋**  
琉球王朝時代にノシや龍巻り台として使われた「照屋」の跡地に建てられた「照屋」の歴史を今も伝える場所として残っています。

**12 神里**  
神里の歴史は、三日月が降るたびに「神里」の歴史を今も伝える場所として残っています。

**6 与那覇**  
昔は多くまであったといわれる与那覇。ウサンダキには通商伝説の主人公ウサンダキの墓と呼ばれているものがあり、歴史を感じます。戦前のウサンダキは小高く、富士山と見紛うほど高かったです。

**4 兼城**  
14世紀後半、首里より内城（ウチノミヤ）が築かれ、その後、兼城が築かれました。その歴史は、兼城の歴史（マフエノクサ）が、その歴史を今も残しています。

**11 山川**  
南風原町で最も長い歴史を持つ山川。南風原町の歴史と文化を今も伝える場所として残っています。

**2 大名**  
大名は琉球王朝時代に南風原町に3つの大名が住みつけられた。その歴史は、南風原町の歴史と文化を今も伝える場所として残っています。

**8 津嘉山**  
14世紀の南風原町に中心から津嘉山に伝わったとされる津嘉山。毎年6月20日に行われる津嘉山（津嘉山）と10月に行われるウサンダキ（ウサンダキ）が、その歴史を今も残しています。

**5 宮平**  
宮平は、南風原町の歴史と文化を今も伝える場所として残っています。

**3 宮城**  
南風原町の歴史と文化を今も伝える場所として残っています。

**1 新川**  
南風原町の歴史と文化を今も伝える場所として残っています。

**南風原町には12の「字（アザ）」があり「字」ごとの祭りや文化が根付いています。**

**かすりの道**  
1989年に整備された本部・照屋・南風原町にまたがる道の、道沿いに立ち並ぶ「かすり」工場から取り残された「シャワー・ファン」のどかにかすりに残っています。

**かすりの道**  
歴史と伝統に彩られた「かすり」の歴史を今も伝える場所として残っています。

**かすり**  
インドに源を発し、東南アジアに広がったのが琉球王朝時代に沖縄に伝わり、沖縄の気候風土にマッチした独自の耕へと進化。その伝統は「かすりの歴史」で今も残っています。

**南瓜**  
南風の色彩を放つ個性豊かな「かすり」の歴史を今も伝える場所として残っています。

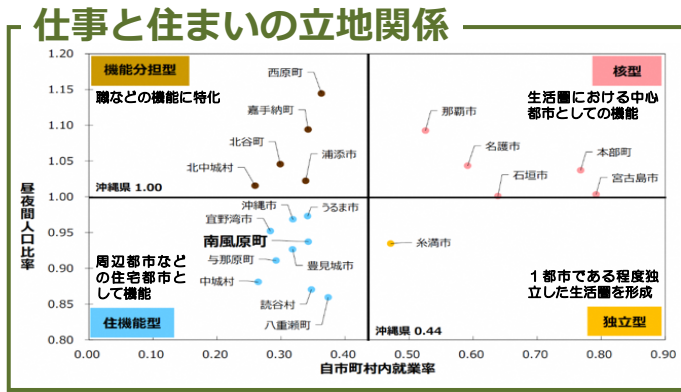
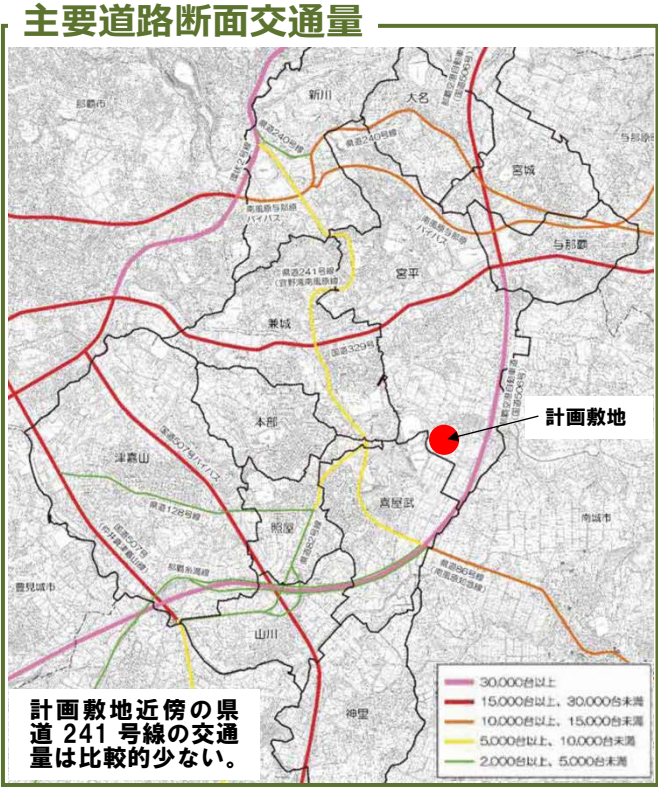
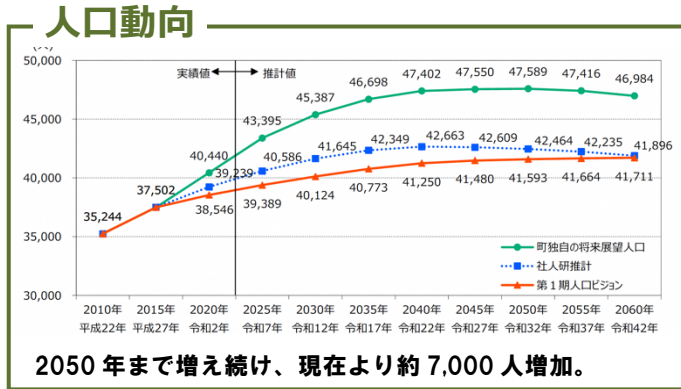
**ストレリチア**  
年間約2万本のストレリチアを生産し、日本の生産量を誇る南風原町。鮮やかな花として人気があるだけでなく、葉の繊維を織り込んでつくられたストレリチア（かすり）にも利用され、美しい織物も生まれています。

**へちま**  
夏に欠かせない人気の沖縄野菜。南風原町が、日本の生産量を誇ります。

※南風原町総合案内(南風原町観光協会)のマップ部分を加工

# (仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

## 3. 参考情報



## (2) 導入機能の方向性

諸室等	意見等
アリーナ	県大会、九州大会を開催できる規模としてほしい。 太陽光を遮るカーテンが必要。 天井・壁の色は白を避けてほしい。 硬すぎる床は避けてほしい。 照度や照明の検討が必要。 壊れにくい壁・建具必要。
サブアリーナ	県、九州大会を開催できる規模としてほしい。
観客席	観客席が必要。 大会時に選手30名×16チーム=480名、応援500名程度が座れる観客席が必要。 横長より、すり鉢状の客席の方が見やすい。
ランニングコース	ランニングコースがあるとよい。
トレーニングルーム	体づくりの健康器具が必要。
舞台	大会時ステージは可動式で良い。 イベント時発表できる舞台がほしい。
会議室	研修などで会議室が必要。
器具庫	広い倉庫が必要。
トイレ・シャワー	トイレ、シャワー室が必要。 トイレは多く、各場所にほしい。
空調設備	空調設備必要。 熱中症対策が必要。 空調があれば県大会が誘致できる。
駐車場	選手バス、大会関係者、応援用(県大会300台+バス16台以上必要)。 イベント(イベント来客500台必要、現在は学校グラウンド等からシャトルバスで対応)。
屋外イベント広場	屋根付き・人工芝広場が欲しい(プロサッカー交流イベント、フットサル、ペタンク)。キッチンカー。
カフェ・レストラン	地元の産業育成に寄与するようなチャレンジショップは面白い。 飲食施設があると整備後の維持管理も含め、集客が可能ではないか。
宿泊施設	合宿が出来る施設があると良い。
バリアフリー	全ての人が利用しやすい体育館が必要。
防災	災害時の避難施設としての検討も必要。 災害の備蓄は現状足りていない。
その他	ウルトラマンを観光の目玉にするのはどうか。観光協会の移行、案内所の統合。

整備の方向性
・バスケットコート3面、バレーコート4面、バトミントンコート12面、卓球台30台以上、ハンドボール2面 ・62m×44m
・カーテンの設置または窓の配置検討
・天井の色、濃色検討
・床組みの上、仕上げ材を設置
・必要照度の確保と位置検討
・壁・建具の強度を考慮
・バスケットコート1面を設置(アリーナ3面も含めて4コートで大会が出来る)
・2階固定席1,000席程度客席を設置
・客席形状を検討
・ギャラリーにランニングコースを設置
・トレーニングルームの設置
・ステージは可動式
・会議室の設置(80名程度) ・鏡を設置する(ダンス用) ・広く使いやすい器具庫を設置 ・トイレ、シャワー室を設置
・空調設備を設置
・普通車500台程度・バス16台設置。不足する場合は公民館駐車場・高架下駐車場の利用を検討
・広場を設置(屋根付きを検討)
・民間事業者のアイデアや市場性の有無を把握
・宿泊施設検討(用途上の規制を確認)
・バリアフリー、ユニバーサルデザインを考慮
・災害時における避難場所及び備蓄センターとしての役割を検討 ・災害時の排水およびマンホールトイレの検討
・町の目玉ポイントの検討

## 4. 基本計画の概要

令和4年度「黄金森公園屋内運動施設基本計画」より

### (1) 基本コンセプト及び整備方針

【基本コンセプト】  
スポーツを楽しみ、夢を育み、交流を生み出す体育館

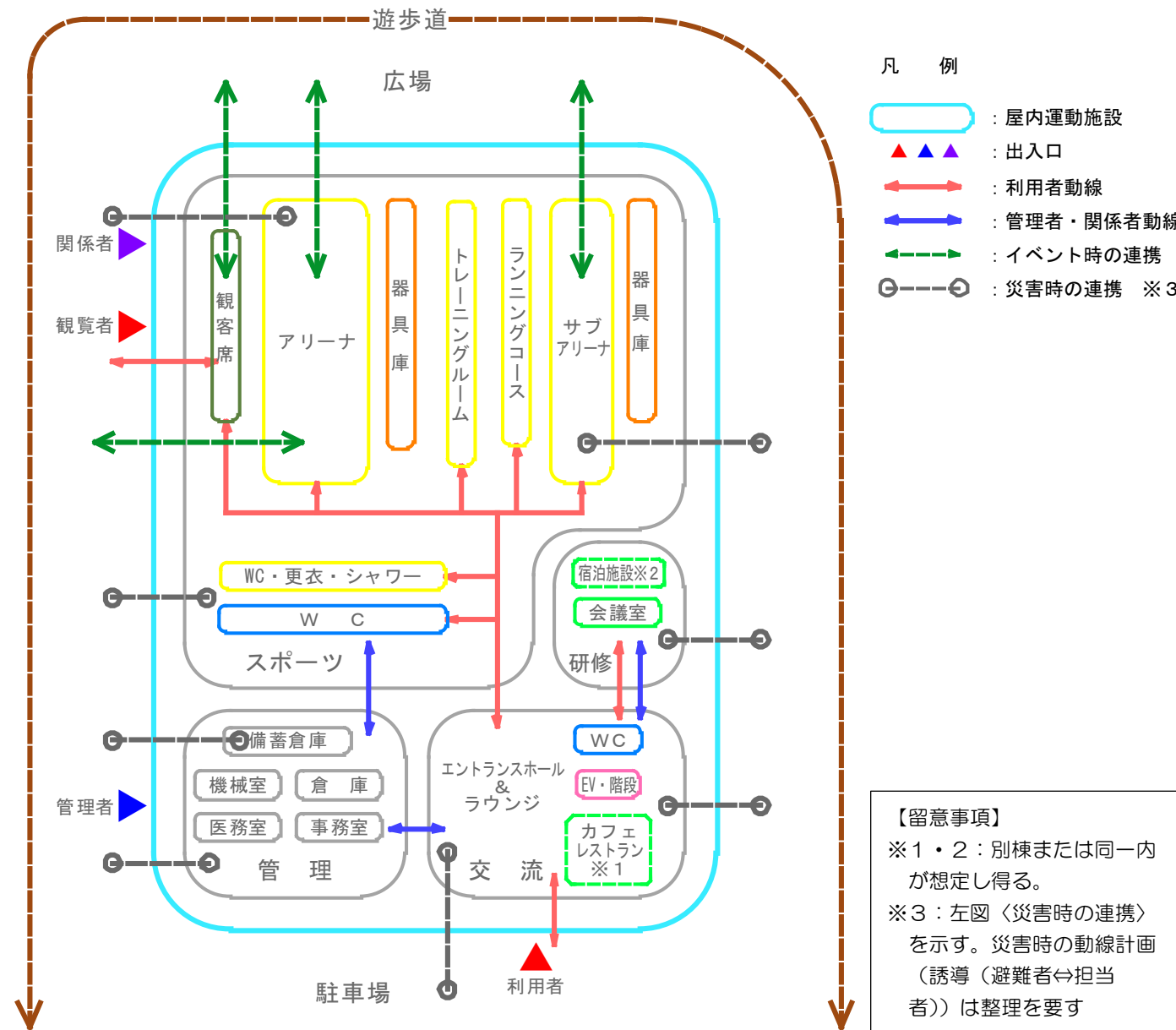
整備方針

- ① 町民が気軽にスポーツを楽しむ体育館
  - ・町民の誰もが使いやすく、レクリエーション、健康増進等に取り組むことができる体育館とします。整備にあたっては、利用者に優しいバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮します。
- ② 町民がスポーツを観て夢を育む体育館
  - ・トップレベルの大会(主に県大会、九州大会)などを観戦することで、子どもたちの夢を育む場となる体育館とします。
- ③ 人が集まりにぎわいが生まれる体育館
  - ・運動、スポーツという機能に加えて、様々なイベントを行う場として整備を図り、人々の交流を促進し、地域の活性化に寄与する体育館とします。
- ④ 防災拠点としての役割をもつ体育館
  - ・災害時の避難施設として対応するなど、防災機能を備えた体育館とします。

# (仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

## (3) 施設構成イメージ (案)

※イメージであり、確定したものではありません。



## 6. 関連・連携施設

### (1) 黄金森公園陸上競技場

利用時間	9:00~22:00	定休日	年末年始
収容人数	5,300人		
施設内容	400m×8レーン、全天候型、天然芝フィールド(7,140㎡・105m×68m)、投てき(砲丸・ハンマー・円盤・やり)、跳躍(幅跳び・三段跳び・棒高跳び)、3,000m障害用設備、雨天走路 50m×3レーン		
付帯設備	駐車場/シャワールーム/更衣室/会議室/トレーニングルーム/AED/救護室/ナイター設備/Wi-Fi		
利用状況	【陸上競技場】 R1: 17,354人、R2:10,987人、R3:12,921人 【トレーニング室】 R1:21,251人、R2:8,024人、R3:7,231人		



### (2) 黄金森公園野球場

利用時間	9:00~22:00	定休日	年末年始
収容人数	200人		
施設内容	両翼 91.44m、中堅 101m、天然芝、ラバーフェンス		
付帯設備	駐車場/会議室/ナイター設備		
利用状況	【利用者】 R1: 5,688人、R2:4,817人、R3:3,054人 【試合数】 R1:319試合、R2:218試合、R3:157試合		



## 5. 事業スケジュール

